



平成30年7月31日

各位

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社
 代表者 取締役社長 長見 善博
 (コード番号 7705)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 芹澤 修
 (TEL 03-5323-6633)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,516	856	891	507	49.43
今回修正予想(B)	11,750	1,240	1,310	890	86.75
増減額(B-A)	233	383	418	382	
増減率(%)	2.0	44.8	46.9	75.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	10,818	1,083	1,199	773	75.40

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,159	2,150	2,192	1,314	128.15
今回修正予想(B)	24,500	2,750	2,820	1,810	176.41
増減額(B-A)	340	599	627	495	
増減率(%)	1.4	27.9	28.6	37.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	22,938	2,418	2,563	1,747	170.28

修正の理由

半導体事業の第2四半期累計期間の売上高が、前期末より続く半導体市場における設備投資の好調を反映し予想を上回る見込みです。これに伴い営業利益及び経常利益も、量産効果等による利益率の向上が貢献し、それぞれ予想を上回る見込みです。また、分析機器事業において持分法適用関連会社の持分譲渡に伴い特別利益を計上するため、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益が予想を上回る見込みです。

通期業績見通しにつきましても、第2四半期累計期間の業績を反映させ、修正することといたします。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上